

英語授業におけるディベートの活用と評価の工夫

～思考力と表現力の向上を目指して～

秋田県立本荘高等学校 教諭 三浦 瑞穂

1. 背景

本校では平成30年度から令和2年度までの3年間、秋田県拠点校・協力校英語授業改善事業としてディベートを取り入れた授業改善を行ってきた。各学年においてディベートの要素を取り入れた活動を行ったり、単元のまとめや内容理解の手段としてパラメンタリーディベート（即興型ディベート）に取り組んだりした。3年間の事業を終えて、ディベート活動を単発で終わらせるのではなく、その要素を継続的に授業に取り入れることでより生徒の学習意欲の向上に寄与できるのではないかと考えた。また、改善を加えながら3年間を見通した本荘高校モデルを構築したいとの思いがあった。

2. 学校と生徒の実態

英語科重点実施事項の1つとして「ALTとのTTなどを通して生徒たちの学習意欲を喚起し、英語による意見交換やディベートなどの活動によって思考力と即興で話す力を伸長する」ことを掲げている。各学年においてワークシートや活動を共有することに加えて、学年間でも取組について検証している。

生徒はペアワークやグループワークなど協力して行う活動に非常に積極的で、英語を話すことへの抵抗が少ない。令和3年4月に1年生を対象にして行った英語学習に関する意識調査においても、「英語活動が好きか」の問いに対して、「そう思う」「ややそう思う」の生徒が80%を超えていた。

3. 実践と検証

「ディベートの要素を取り入れたアウトプット活動は学習者の意欲向上に寄与するのか」というリサーチ・クエスチョンを設定して、その検証のためにFluencyに焦点を当てた活動として以下の3つを行った。コミュニケーション英語Iの帯活動としての取組である。

① Word Counter & WPM Record Sheet

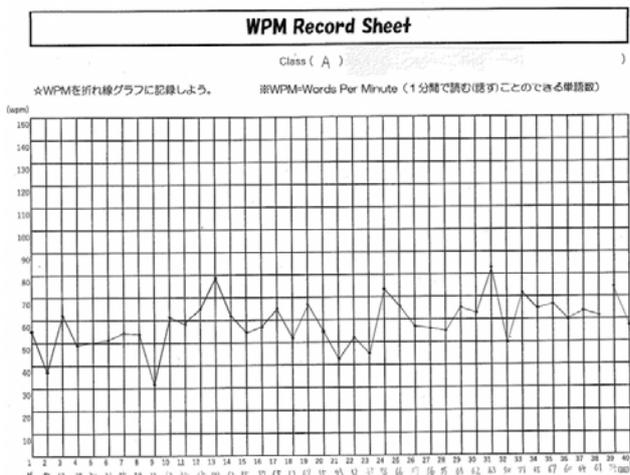
1分間の限られた時間の中で与えられたトピックに対する自分の考えを述べる活動である。短時間で的確に主張したり、意図を伝えたりする力の伸長を目的としている。発話者は1分間のうちでできるだけ多く話すことを意識し、聞き手の生徒は発話語数を数える。言い間違いや言い換えも語数に数える。パートナーを替えて、同じトピックで取り組む。Word Counterには日付と2回分のWPM、トピックを記録する。その後、WPM Record Sheetに2回行ったうちのWPMが多い方を折れ線グラフに記録する。トピックによって話しやすさは異なるのでグラフは上下するが、数字をただ記録するよりもグラフにすることで生徒が自身の取組を振り返りやすくなる。

令和3年10月に1年生を対象にして行った英語の授業における学習活動に関する調査では、「Word Counterを使った英語活動が好きか」の問いに対して、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒が80%を超え、活動を好意的に捉えていた。「嫌い」「どちらかと言えば嫌い」と答えた生徒は英語に対する苦手意識に加え、伝えられないことのもどかしさを感じていた。「Word Counterを使った活動によって、次回はもっと話そうという気持ちになったか」という問いに対しては92%の生徒が「なった」と回答し、Word Counterの活動が嫌いだと答えた生徒で

も英語を話す意欲の向上につながっていることがわかった。

Word Counter									
Class (F) No									
【目的】1パートAの発音練習を数える。 【方法】①発音に合わせて、数字を数える。②間違えや言い換えも記録に数える。									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
80	79	78	77	76	75	74	73	72	71
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
100	99	98	97	96	95	94	93	92	91
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
120	119	118	117	116	115	114	113	112	111
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
140	139	138	137	136	135	134	133	132	131
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150

Date	WPM	Topic	Date	WPM	Topic
1/9	21/28	Self - introduction	21/25	27/43	Why a YouTuber is a good career choice
2/4	37/35	national	22/22	42/63	YouTuber
3/1	49/38	after school	23/26	55/54	Topic is health
4/7	47/44	free time	24/25	50/45	Reading course is a waste of time
5/1	34/29	traveling	25/24	42/61	homework
6/12	47/48	Trip agency / Travel agent	26/24	39/61	school uniform
7/5	49/44	Who do you want to meet? (dead or alive)	27/26	51/48	unemployment
8/2	50/49	Who do you want to meet? (dead or alive)	28/26	49/45	homework
9/1	45/41	after school	29/26	44/49	Why do you want to study while listening to music?
10/4	59/35	Reading course is a waste of time	30/26	46/47	unemployment
11/1	51/49	after school	31/26	47/49	Who do you want to meet?
12/3	52/47	Why do you want to meet? (dead or alive)	32/26	49/47	Why do you want to study while listening to music?
13/5	47/41	after school	33/26	50/47	homework
14/1	45/41	Reading course is a waste of time	34/26	55/44	homework
15/1	46/41	after school	35/26	48/45	Why do you want to study while listening to music?
16/1	51/48	Reading course is a waste of time	36/26	46/42	Why do you want to study while listening to music?
17/1	44/45	Reading course is a waste of time	37/26	49/45	Why do you want to study while listening to music?
18/1	47/45	Reading course is a waste of time	38/26	49/47	Why do you want to study while listening to music?
19/1	49/48	Reading course is a waste of time	39/26	47/43	Why do you want to study while listening to music?
20/1	58/43	Reading course is a waste of time	40/26	47/43	Why do you want to study while listening to music?



Word Counter及び
WPM Record Sheet記載例

② トピックの段階的提示

Word Counterにおけるトピックの内容や形式を月毎に変えた。以下がスピーチトピックの例である。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ① Personal Question 自分のこと (4月) | <ul style="list-style-type: none"> ● What do you like to do in your free time? ● Where do you want to go for traveling? ● Who do you want to meet? Either dead or alive. |
| ② Opinion Question 意見 (5月) | <ul style="list-style-type: none"> ● Some people lose their health by working too hard. What do you think about that? ● Some people try to stay active even after retirement age. What do you think about that? |
| ③ Reasoning Question 賛成・反対と理由 (6月) | <ul style="list-style-type: none"> ● Do you think it is a good idea to live near a large shopping mall? ● Do you think it is a good idea to study while listening to music? |
| ④ Statement 与えられた立場での賛成・反対と理由 (7月以降) | <ul style="list-style-type: none"> ● School uniforms should [should not] be abolished. ● YouTuber is a good career choice. |

個人的な質問から一般化した質問や社会的な話題に段階的に変化させた。意見を理由と共に述べたり、ディベートの要素を取り入れて与えられた立場での賛成・反対を理由と共に述べたりする活動を行った。

1年生の夏休み明けからは反論を意識させた。肯定側が1分間で主張した後、否定側がそれに1分間で反論と自身の立場の意見を述べる。反論の際に以下のように反論の型を提示した。

I don't think～. You said～. However, it is not true [not always true / not important / not relevant] because～.

与えられた立場での主張や反論を意識することで批判的思考力の育成を図った。

③ Review Sheet

Word Counterを使ったスピーチの後、英語で表現できなかったことをReview Sheetに書かせた。単語でも文でもよいこととし、生徒は辞書を使って調べたり、授業終了後に教科担任に質問したりする。スピーチをする際に表現したい日本語をそのまま英語に変換しようとしてしまい、相当する表現を知らないため英語で表現できないという場合がある。語彙の少なさという問題もあるが、日本語をより表現しやすい日本語に変換することでFluencyと表現力の高まりにつながると考えた。

生徒を対象にした英語活動に関する調査の結果、「英語で言えなかったことが言えるようになった」「英作文の練習にもなるのでよい」といった意見があった。Review Sheetの活用は、新しい知識の獲得と既習の知識の想起につながった。

Review Sheet	
Class (F) No. _____	
★言いたかったけど表現できなかったことを書き出そう。	
日本語	English
1 (何かが) 作ることかできず	You can make ^{anything} ^{anything} ^{anything} (in the gang)
2 食パン (おいしい)	(I ate) bread ^{日本のおいしいパン}
3 What I did first { once } ~ ~ ~	First, I ~ ed ~ ~ ~
4 問題を解く	solve ~
5 travel の韓国語?	① 旅行 ② visit ③ go to
6 build	"
7 教えること	"
8 relieve stress = ~ makes me ()	"
9 着る	"
10 仲間	group, friend ^{仲間}
11 能力が身につかない	develop ~
12 効率よく	efficient (y) (効)
13 ビデオ通話	→ call (telephone call)
14 監視する	watch, monitor
15 制限あり	limit - 70 minutes
16 放射線	radioactive ray
17 感染者	infected person
18 感染する	catch ~, get infected with
19 ~がわかる、漏れる	will be revealed
20 発火する	cause a - flare up

4. 成果と課題

Word Counterを用いた発話語数の可視化は、生徒自身が成長を実感でき、さらに力を伸ばしたいという動機付けの一因となっている。ディベートの要素を取り入れて肯定・否定の与えられた立場でのスピーチも批判的思考力の育成に有効であると考えます。それぞれの論題に対する自分の意見と与えられた立場が合致する場合もあれば、そうでないこともある。そういった時に「どういった論点が考えられるのか」や「相手の主張をそのまま受け入れるのではなく、本当にそう言えるのか」、と新たな視点を探ることができるのもディベートの魅力の一つである。これは英語学習だけではなく、様々な場面でも活用することができる。

課題として、論理的思考力をどう伸ばさせていくかということと、どう評価していくか、ということが挙げられる。論理的思考力は短期間で伸ばすことは難しく、長期的な取組が必要である。また、評価基準や評価方法についても検討する必要があると感じている。

最後に3年間を見通したディベートの活用として以下の流れを提案したい。ディベートにおける「立論→反論→まとめ」の一連の流れを体験させることは英語力育成に有効であると考えます。一方で、時間的制約や生徒の学力差などからディベート活動の導入に消極的になってしまう場合もある。しかし、ディベートの要素を普段の授業の中で取り入れていくことで確実に生徒は成長できる。「できない」と導入前に断念するのではなく、積極的に取り入れるべきである。引き続きディベートの活用方法を模索しながら、本荘高校モデルの構築を目指したい。

1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期
意見・反論	反論	立論→反論	反論→再反論	ディベート	→

Word Counter

Class () No. () Name ()

【目的】 パートナーの発話語数を数える。

【方法】 ①発話に合わせて、数字をなぞる。②間違いや言い換えも語数に数える。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
80	79	78	77	76	75	74	73	72	71
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
100	99	98	97	96	95	94	93	92	91
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
120	119	118	117	116	115	114	113	112	111
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
140	139	138	137	136	135	134	133	132	131
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150

Date	WPM	Topic	Date	WPM	Topic
1			21		
2			22		
3			23		
4			24		
5			25		
6			26		
7			27		
8			28		
9			29		
10			30		
11			31		
12			32		
13			33		
14			34		
15			35		
16			36		
17			37		
18			38		
19			39		
20			40		

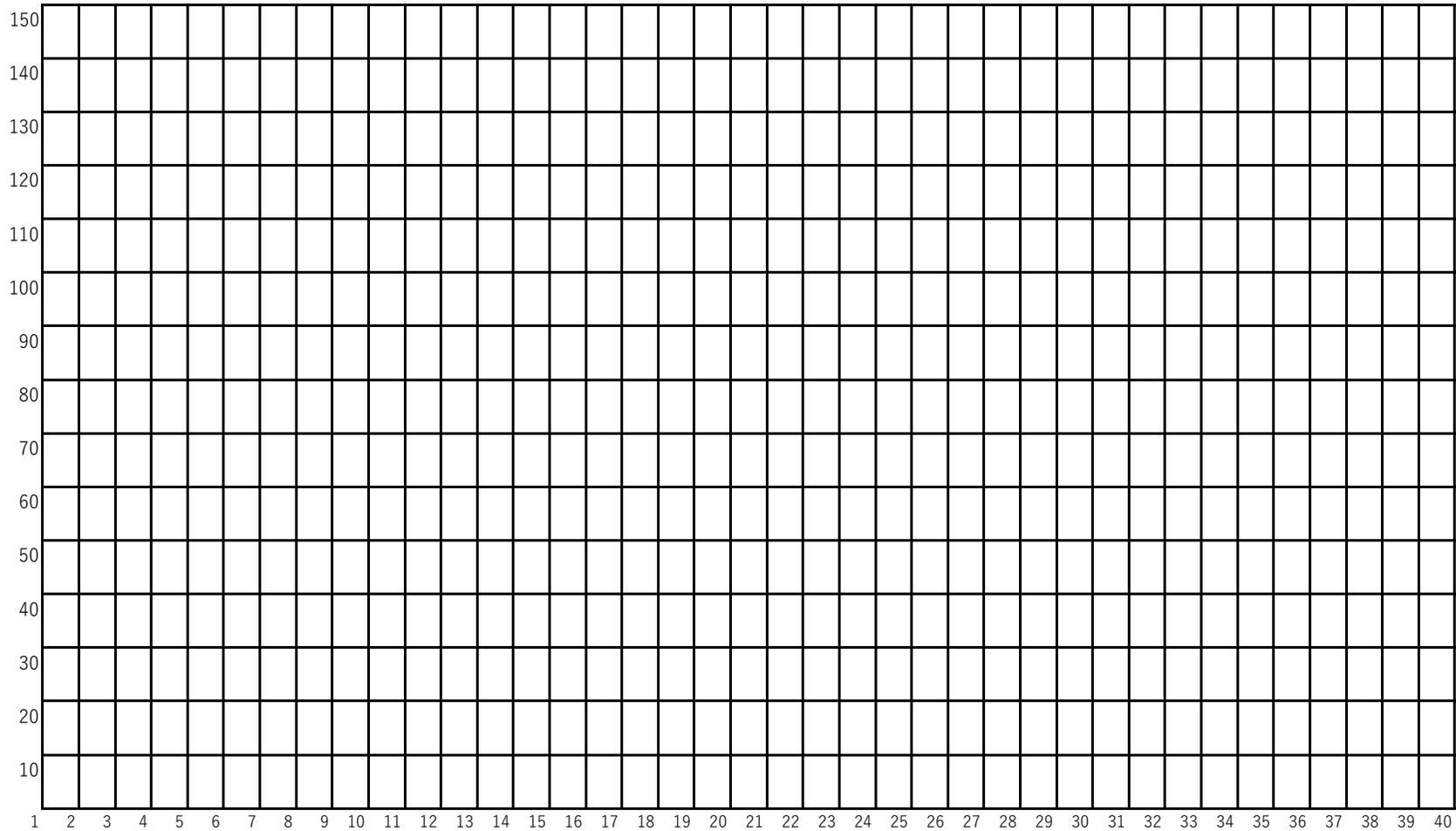
WPM Record Sheet

Class () No. () Name ()

☆WPMを折れ線グラフに記録しよう。

※WPM=Words Per Minute (1分間で読む(話す)ことのできる単語数)

(wpm)



(回)

Review Sheet

Class () No. () Name ()

☆言いたかったけど表現できなかったことを書き出そう。

	日本語	English
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		